

領域4 インフォーマルミーティング議事メモ

報告者 江藤 幹雄 (領域代表)

2009年9月27日(日) 12:30~13:30 XD会場

代表 江藤 幹雄 (慶大理工)

副代表 平山 祥郎 (東大理)

世話人 鷗沼 毅也 (名大院工)、鈴木 恭一 (NTT物性基礎研)、山本 倫久 (東大院工) (~2009.10)
枘富 龍一 (東大理)、村上 修一 (東工大物理)、三野 弘文 (千葉大理) (~20010.4)

【報告事項】

1. プログラム小委員会・領域委員会 (2009.5.27)

(1) 2009年秋季大会の招待・企画講演、シンポジウム講演の検討と決定

領域4 関連は以下の通り。

招待講演：2件採択

・領域6・4・9

下田正彦「準結晶表面のSTM観察とクラスター構造」

・領域7・4・5

迫田誠治「1次元励起子の厳密解とその応用」

シンポジウム：3件採択

・領域4・5・8 (領域4が主領域、提案者：鷗沼)

「テラヘルツ領域における非線形光学・高密度励起現象の新展開」

・領域3・4

「スピン流に関わる新現象 スピン流は電磁気学をどこまで変えるか」

・領域11・4・8・9・12

「第一原理電子状態計算のフロンティアと次世代計算機への期待」

(2) 第4回若手奨励賞選定スケジュール

募集締め切り：2009年7月27日、領域からの受賞者推薦：2009年9月

(3) 世話人定数の変更

領域10の世話人を8名から7名に変更(フォノン物性担当を2名から1名にし、1年ごとに入れ替わる)。他の領域でも世話人定数が適当かどうか検討する。

領域4の世話人定数は、現状の6名で適当であると判断した。

(4) 「領域世話人」の名称について

他学会との兼ね合いから、「領域世話人」という名称を、その職責により相応しい名称に変更してはどうか、という提案があった。「領域運営委員」という名称への変更案が多くの支持を得た。この提案を各領域のインフォーマルミーティングに諮る。

領域4では、この提案どおりの名称変更を支持する意見が多数であった。

(5) 領域世話人の任期について

現在は「5月~翌年4月」と「11月~翌年10月」となっているが、これを大会開催準備期間にできるだけ合わせるという意味で、1ヶ月早めた「4月~翌年3月」と「10月~翌年9月」とする案が出された。各領域のインフォーマルミーティングに諮る。

領域4で議論をし、現状の任期の方が世話人の仕事の実情に合っていて(学会の開催時期が遅くなる場合がある、シンポジウムの報告書の提出が4月や10月になる、etc.) 特に変更の必要はない、との結論であった。ただし、形式的に1ヶ月早めた方が良いのであれば、積極的に反対はしない。

2. プログラム編成会議 (2009.6.12)

- (1) プログラム編成会議には、東京近郊の鈴木、山本、枘富、三野の4名が出席し、プログラム編成、インフォーマルミーティングの申し込み等の作業を行った。事前のカバーシート作成には上記4名に鶴沼、村上が加わった全世話人で分担した。
- (2) 領域4・7合同のグラフェンセッション：合同セッションでの発表を希望した講演は、領域4に3件、領域7に8件。それに加え、合同セッションとの関連性が非常に高い講演3件(量子ホール効果・理論)を合同セッションの中に組み込んだ。

3. 領域4・7合同のグラフェンセッションについて

- ・過去3回の物理学会：募集要項に合同セッションの記載はなかった。プログラム編成の段階で領域7と協議をし、各領域で一つずつ合同セッションを作った。(それぞれ「領域4、7合同セッション」、「領域7、4合同セッション」。ただし2009年春の第64回年次大会では手違いがあり、後者はプログラムに「領域7」と記載された。)
- ・今回の物理学会：募集要項に『グラフェン関連の講演については領域7との間で関連性が強いと思われる講演を組み合わせる合同セッションを組むことがあります』と明記、第3キーワードに『(36)グラフェン』を追加。合同セッションでの発表を希望した講演数は上述の通りで、「領域7、4合同セッション」を一つ設けた。
- ・合同セッションでの発表を希望する講演が多い場合は、合同セッションを継続する。
- ・合同セッションが一つの場合、「領域4、7合同」とするか「領域7、4合同」とするかは、領域7と協議をして決定する。
- ・合同セッションでの発表を希望しない講演者には要旨欄に意見を書てもらう、等で対応する。

4. 領域4メーリングリスト (jps-semicon@appi.keio.ac.jp) への参加呼びかけ (継続的)

学会に関する各種情報や意見の交換が行われるので、学生も含め是非登録をお願いします。メーリングリストとその登録に関しては、領域4のWeb (<http://div.jps.or.jp/r4/index.html>) をご覧ください。

- ・領域4メーリングリストでメールを流したとき、subject 欄にそれが明記された方がわかりやすい ([jps-semicon_ml] を最初につける)。管理者 (慶大理工、内山孝憲さん) に問い合わせ、可能であればこのように設定する。

【審議事項】

1. 次々期世話人 (任期：2010.5～2011.4) の紹介・承認

小寺 哲夫 (東工大量子ナノ研) 三森 康義 (東北大通研) 橋本 克之 (東北大理)

2. 次半期の世話人確認

枘富 龍一 (東大理)、村上 修一 (東工大物理)、三野 弘文 (千葉大理) (～2010.4)

野村 健太郎 (東北大理)、大橋 琢磨 (阪大理)、羽田野 剛司 (ICORP-JST) (～2010.10)

なお、次期領域代表、副代表 (～2010.9) は以下の通り

代 表： 平山 祥郎 (東北大理)

副代表： 山田 省二 (北陸先端大ナノセ)

3. 世話人の仕事分担の確認

- ・プログラム編成

業務分担を世話人の中で調整（編成会議への出席は東京近郊の3名程度）

- ・領域HPのメンテナンス（1名）

担当者：大橋（2009.11～2010.10の1年間）

- ・シンポジウム、招待講演、企画講演の計画（全員）

1年近くじっくり考え、任期最後の学会で何かを企画することが大変望ましい。